

『術前ハイリスク症例に対する食道癌周術期における
プレハビリテーション介入の有効性』
に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	手術前の栄養運動介入が手術を受ける食道癌患者さんに対して、手術後の合併症の軽減や在院日数の短縮と関連があるのかを検証します。
研究の方法	身体計測情報、血液検査情報、手術に関わる情報、手術後の栄養補給情報等を電子カルテに記載されている情報を基に研究を行います。
対象者	西暦2016年12月1日～2024年4月30日の間に、患者支援センターを受診した食道癌の手術をされた方
利用する試料/情報	情報等：年齢、性別、血液検査情報、身体計測情報、呼吸機能検査、手術に関わる情報等
利用する試料/情報の取得方法	診療録の情報
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【当院単独研究】 済生会横浜市東部病院 大沢優也(研究代表者)
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第40回日本栄養治療学会学術集会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2025年2月7日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 栄養部/管理栄養士/大沢優也
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 栄養部/大沢優也